

# 第 19 回シンポジウム「高齢社会を共に生きる」

## 記念講演・実践報告要旨

### [ 記念講演 ]

#### 「高齢社会の新たな課題」 健康づくり、社会参加、地域福祉

辻 哲夫（厚生労働審議官）

経歴：東京大学法学部卒業。  
厚生省大臣官房政策課長  
同省大臣官房審議官  
厚生労働省年金局長  
同省大臣官房長  
同省保険局長等を経て  
2004 年より現職

#### 「高齢期を元気に生きよう」 寝たきり・認知症（痴呆）予防

竹内 孝仁（国際医療福祉大学大学院教授）

経歴：日本医科大学卒業。  
東京医科歯科大学整形外科講師  
同大学リハビリテーション部助教授  
日本医科大学リハビリテーション科教授等を経て  
2004 年より現職

### [ 実践報告 ]

#### 「ふれあい安心ネットワークシステムによる地域づくり」 高齢者施設における地域住民への対応に関する実践

平方俊雄（東京栄和会理事長）

高層住宅の立ち並ぶ大都市のニュータウンで孤立化していく高齢者たちのために、福祉のまちづくりを展開してきた。モデル地域「清新町」を定め、福祉専門学校生たちが企画・運営する「小学生と高齢者の交流」や、住民・行政・施設が協働して開催する定期的な「わくわく福祉フェア」を通じて、ふれあい安心ネットワーク化や拠点づくりを進めた。また、大型スーパーに日常生活に欠かせない相談の場として「さわやか相談室」を立ち上げた。

（所在地）東京都江戸川区西葛西 8 - 1 - 1

### 「ちょボラで築く、みんなが主役のまちづくり」

情報企画集団と即応実践チームを核とする地域支援システムの構築

**辻村泰範**（宝山寺福祉事業団理事長）

「あなたが主役、みんなが主役、出来ることを少しだけ」をキャッチフレーズに、子どもからお年寄りまでの世代を超えた「ちょボラねっといこま」を展開してきた。子ども達がボランティアに参加する「ちょボラ探偵団」や障子張替え・粗大ごみ出し等の高齢者ニーズに応える大人の実践グループ「がってんおまかせクラブ」を組織化した。また、在宅介護支援センターを核に高齢者ニーズを掘り起こす「はやみみ知恵蔵クラブ」に取り組んだ。

（所在地）奈良県生駒市門前町 8 - 7

### 「ヒューマンサポートシャントセナ 21」

住民主体における保健・医療・福祉の総合推進をめざして

**越智 和子**（琴平町社会福祉協議会業務課長）

住民が生きいきと生きがいを持って、安心して自立生活が営める地域社会づくりを展開してきた。「健康・生活支援ノート」を活用して、高齢者自身が健康・生きがいに関心を持つように努めた。また、各地区で展開する小地域サロンの活性化や地域クラブの発足、住民・高齢者が運営に参加する活動拠点「ちょっとこ場」の開設等を進めた。小学生から高齢者までがチームを組んで生活の視点で防災・防犯マップづくりに取り組んだ

（所在地）香川県仲多度郡琴平町榎井 891 1